

防災パネル展『3.11東日本大震災を忘れない』 結果報告

3月11日(月)、12日(火)に防災パネル展を
広島市紙屋町シャレオ中央広場にて実施しました。

- ・東日本大震災の発災から緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)活動状況をはじめ、中国地方の防災に関する取組をパネルで紹介しました。
- ・パネル展にあわせ、「東日本大震災 現場の戦い～全ては被災地のために」などのビデオ映像を大型スクリーンで紹介しました。
- ・2日で約1500人の方に訪れていただきました。



ビデオ放映や被災地の写真に見入る来場者の方々



展示パネルに見入る
来場者の方々



アンジュビオレ広島の監督と選手の挨拶

3月11日には、女子サッカーチーム「アンジュビオレ広島」の森下監督と葛馬、横山選手がパネル展に駆けつけてくれ、防災対策の重要性を訴えるとともに、今年度の抱負を述べてくれました。



挨拶をされる森下監督

気象キャスターと国交省職員によるパネルディスカッション

防災パネル展「3.11東日本大震災を忘れない」の特別企画として、気象キャスターネットワーク(WCN)とのパネルディスカッションを、広島市紙屋町シャレオ中央広場において、3月11日(月)、12日(火)のお昼12時から開催しました。

各テレビ局で活躍中の気象キャスターのみなさんと中国地方整備局の職員で、自然災害について気象現象をテーマに意見交換を行いました。

特別企画 パネルディスカッション

広島で起こりやすい災害とは？ 実験・解説もあります。

3月11日(月)・3月12日(火) 各日12:15~12:50

「今、中国地方の防災は」

中国地方整備局の防災担当職員と、気象キャスターネットワークに所属する気象予報士により、多発する自然災害について気象現象をテーマに中国地方の防災について考えて行きます。

コーディネーター パネラー

					
中国地方整備局 総括防災調整官 岸本 芳雄	テレビ新広島 波田 健一	中国放送 岩永 哲	NHK 勝丸 恭子	広島テレビ 大隅 智子	太田川河川事務所 榎谷 有吾



1日目(聴講者約90人)



2日目(聴講者約150人)

まず、大隅さんに江波山気象館の実験器具を用い、雲と雨の関係をわかりやすく説明していただきました。

榎谷課長からは、近年広島で発生した気象災害について。

波田さんからは台風の注意事項について。

勝丸さんからは地デジでの河川水位の公表について。

岩永さんから津波や高潮のリスクについて紹介していただきました。

それを踏まえ意見交換を行い

最後に、岸本総括防災調整官より、災害はいつでも起こるかわからない。決して他人事と思わず防災意識を高めてほしい。と締めくくりました。



東日本大震災追悼式

3月11日には、TEC-FORCE先遣隊隊長、現地支援班班長の2名より、発災直後の経験談などの報告を行いました。その後、政府主催の追悼式にあわせ、黙禱を捧げました。



活動報告をされる川端道路保全企画官
「先遣隊が見た被災地」と題して、自らが見られた被災地の状況を報告されました。



【黙禱】2:46から1分間黙禱を行いました。
中央広場の聴講者のみならず、地下通路を通行する多くの方に参加いただきました。



被害状況の報告をされる足立防災対策官
リエゾンとして、現地に入られ、自らが見られた被災地の状況を報告されました。